

## 第3回県北地区新設高等学校統合検討委員会 議事録

期 日 令和4年10月14日(金)  
時 間 午後2時02分～午後3時33分  
会 場 福岡工業高等学校 大会議室

### 1 開会(事務局担当校 岩手県立一戸高等学校副校長 新田剛史)

### 2 県北地区新設高等学校統合検討委員会委員長あいさつ(委員長 上野光久)

- ・本日の委員会では、校名(案)の候補を決定する。第2回委員会における委員各位の意見をもとに再度検討し提案している。この地域の人材育成や地域創生に寄せる思いは、委員の皆様に通ることと考える。新設校に相応しい校名となるよう、活発な議論をお願いしたい。

### 3 報告(一戸高校副校長 新田剛史)

#### (1) 第3回統合課題検討小委員会

- ・資料2ページを読み上げて報告。質問、意見なし。

### 4 協議(議長 委員長 上野光久)

#### (1) 県北地区新設高等学校校名(案)について(一戸高校副校長 新田剛史)

- ・資料3～9ページを読み上げて提案。Aグループの北桜、誠北、Cグループの北桜工科総合、工科総合の4つを順位を付せずに県教育委員会へ推薦することを承認。

(生内委員) 学校名に「岩手県立」は必ず付くのか。

〈回答〉(一戸高校新田副校長) 「岩手県立」は必ず付くことになる。

(生内委員) 例えば、「岩手県立いわて北桜高校」や「岩手県立いわて〇〇高校」のように音が重複する可能性もあるのか。

〈回答〉(一戸高校新田副校長) 「いわて〇〇高校」となれば、音が重複することとなる。他県の例を挙げると、秋田県では、「秋田県立秋田〇〇高校」という校名が複数あるが、岩手県での例はない。

(鳩岡委員) BグループやCグループ案の中に適切なものが一つもないと感じる委員もいるかもしれないが、その場合はどのようにするのか。

〈回答〉(上野委員長) 最終的には校名(案)候補を4つ程度に絞りたいと考えているが、候補数が多いことから、まずA、B、Cの各グループから2つずつ程度選んでいただきたいと考えている。御指摘のように、委員によっては特定の

グループに適切な候補がないと感じる場合もあると考える。

(鳩岡委員)「Aグループから」、「Bグループから」ではなくグループを限定せずに「これが良いと思う」というように自由に発言する流れがよいと考える。

〈回答〉(上野委員長)事務局からの協議方法の提案では、Aグループから順番にグループ毎に協議していく計画としているが、進め方について御意見をいただきたい。

(田家委員)前回の統合検討委員会では、提案のあったAグループの校名(案)を支持する方は少数だったと記憶している。Aグループから2つ必ず選ぶことになる、委員会として本意ではないものも候補となってしまう可能性があるのではないか。

〈回答〉(上野委員長)候補の決め方については、この場で決めることができるものであることから、委員各位の御意見をいただきたい。

(鳩岡委員)前回、提案していただいたAグループの校名(案)を支持された委員は限定的であったと記憶している。前回の統合検討委員会を振り返ると、学びの内容の分かる校名が良いのではないかとという声が多かった。そのため、小委員会に再度検討をお願いし、提案していただいたのが、今回のBグループ、Cグループである。このような経緯を踏まえると、前回支持者が少なかったAグループからではなく、他のグループから選ぶ方が良いのではないかと。

〈回答〉(上野委員長)確かに、前回の統合検討委員会で、学びの内容を校名に付した方が良いと発言された委員は多かったと認識している。

(筒井委員)Aグループから2つ選ぶとなると、この中に適切な候補がないと考えている委員が多くても、この中から2つが選ばれ、その中から4つ絞って県教育委員会へ報告されることとなる。例えば、「いわて北翔」、「明北」が選ばれたとして、委員会の本意ではないものが校名(案)になるのではないかと懸念がある。

(中村委員)先ほどから、前回の会議で学びの内容がわかる校名が良いという意見が多数であったような意見が続いているが、私は前回の会議でAグループの校名(案)を支持していたところである。

(鳩岡委員)「各グループから2つ選ぶ」より、各委員が「私はこれを支持する」という意見を表明する進め方が良いと思うがいかがか。

〈回答〉(上野委員長)ただ今、御提案のあったとおり、自由に意見を述べていただき、6つを目途として絞っていく進め方として良いか。

(鳩岡委員)その方法で良いと考える。グループに縛りをかけず、支持のあった案の中から指示の多いもの6つに絞っていく方法が良いのではないかと。

(佐々木(由)委員)前回の会議でも発言したが、原案(A案)に賛成である。小委員会は、実際に両校の生徒に接している先生方で構成されており、この地区の人材育成など、統合新設校が担う役割を考慮し、様々な思いを込めて校名

(案) 候補の検討が行われたことと思う。選定の仕方について、3つのグループから2つずつ選び、さらに4つに絞るという方法に至った理由を伺いたい。

〈回答〉(一戸高校新田副校長) 前回の統合検討委員会における御意見を踏まえ、今回の3つのグループを提案したところである。候補の数が32案と多くなったため、まず、それぞれのグループから2つずつ選んで絞り込み、その中から4つ選考する方法が良いのではないかと小委員会で考えたものである。

(鳩岡委員) 小委員会の意図として、Aグループから校名(案)を選考したいということがあるのか。

〈回答〉(一戸高校新田副校長) 小委員会における議論では、Aグループの案を支持する意見が多かったという状況ではあるが、前回の統合検討委員会における御意見を踏まえ、学びが分かる校名として、BグループとCグループを新たに提案させていただいたものである。

(上野委員長) これまでのところ、決め方について、各グループから候補を挙げるという案と、グループを限定せずに候補を挙げるという案が出ている。候補の選考方法について御意見をいただきたい。

(佐藤委員) 候補の数が32と多いので、各グループからそれぞれ2つ、あるいは3つずつ出す方法が良いのではないか。

(佐々木(由)委員) 資料に掲載されている全国の学校の例を参考にして選ぶことにより、自ずとA、B、Cグループから除外される候補があると思う。

(中村委員) 事務局の案に賛成する。

(中奥委員) 前回、統合検討委員会を欠席しており、資料をいただき拝見した。今回の提案では、BグループとCグループが追加されている。前回の会議の議論を踏まえて改めて検討していただいた結果、最初の7案に追加されて提案されたものである。B、Cグループの方が、小委員会にてより深く検討した提案と感じる。32案から選考する方法としては、各委員が良いと考えるものを出し合う方法が良いのではないか。

(上野委員長) 候補の数が多いため、進行としては整理しながら進めたいと考えるところである。グループを限定せず、自由に意見を出していただいて、意見が集中するものを委員会の案として選考することとしたいと考える。

(筒井委員) その進行の考え方に賛成である。5ページの11番の「総合工科」について、東京都、愛知県の例が示されたが、「総合工科」という名称は、大規模な工業高校というイメージになると思う。「工科総合」のように入れ替えた名称は、イメージが全然違うものになるのではないかと考える。県外で、「総合工科高校」を卒業したと言ったときに、工業高校出身の人なのかと思われる心配はないか。

〈回答〉(一戸高校新田副校長) Bグループの「総合工科」は公募にあったもので

ある。他県の例では「総合工科高校」は工業学科が複数設置される大規模な工業高校である例が多い。大規模工業高校のイメージを避けるために小委員会では順番を入れ替えて「工科総合」という形にしているが、全国的に考えると「総合工科」が定着しているため、順番を入れ替えても工業高校のイメージが強くなる可能性がある。なお、「工科総合高校」という校名の例は確認できなかった。

(生内委員) 前回の統合検討委員会で「工科総合」に関して、「工科」には「工業」の意味合いもあり、良い並びであると発言した。この校名(案)を改めて見ても、とても良い名称であると感じる。一戸高校と福岡工業高校の学びが平等に付される名前として「工科総合」が良いと考える。

(筒井委員) 校名を見た際に学びの内容が分かることが大事と考える。「工科総合」、「総合工科」のどちらかが相応しいと考える。「総合工科」は大規模な工業高校のイメージとなるのであれば、「工科総合」が良いと考える。

(鳩岡委員) お二方の意見に賛成である。「工科総合」という名称は事務局調べによると、日本にまだ無いということであり、この地でその名前の高校ができるのは非常に意味のあることだと思う。二戸市教育委員会の立場から申し上げるが、「工業」の名前がなくなるのは非常に寂しい。統合新設校の入学者の大半は就職を希望するであろうことを考慮すると、「工」の字があった方が、企業からの求人が多くなるものとする。「工科総合」はすわりも良いと感じることことから、強く支持する。

(中嶋委員) 「北桜」がシンプルで良いと考えており支持したい。学びの内容については、校舎名を「工業校舎」、「総合校舎」とすることにより周知されるのではないかと考える。校名に学びの内容を明記することで認知されるようになるよりも、新しい高校が活躍することにより多くの方々に認知され、魅力のある学校になることを期待したい。

(佐々木(由)委員) 小学校や中学校では、「東小学校」や「西小学校」のような名称が多く見受けられる。県北地域の高校として、「北」の字は欠かせないものとする。また、それぞれの市町のシンボルである花の名前を用いていることも大事な要素でないか。「県立北桜高校生」として、生徒たちが誇りを持ってくればと思う。「北桜」を支持する。

(高村委員) 校名には学びの内容を入れないほうが良いと考える。10年後、20年後には現在にない学びが増えてくることが予想されることから、「総合工科」のように限定しないほうが良いと考える。一戸高校の同窓会として、「桜」が入れば良いのではないかと考える。

(佐藤委員) 前回の会議において、学びが分かる校名の方が良いと発言したが、その後、PTAの代表として、保護者や生徒たちの話を伺ったところ、「工科」という名称には、工業色が強く感じるという意見であった。校舎名を「工業校

舎」、「総合校舎」とし、校名はシンプルなものが良いと考える。Aグループの中を支持したい。

(中村委員) 前回の会議で、小委員会から校名に地名や学びの内容を付さないという考え方により、今回のAグループが提案された。その中の一つに、子どもたちの誤解を招かないように工業、総合を外すという項目があったと記憶している。この考え方が基本だと考えるところであり、校名はAグループから選ぶことが良いのではないかと考える。

(田家委員) 「総合工科」、「工科総合」が分かりやすいと考える。校名に一戸高校の「総合」、福岡工業高校の「工業」があり、対等な統合なので素晴らしいことだと思う。当初、各グループから2つずつ選ぶということだったので、Bグループからは「至誠」という候補が、とても良い名称であると思っている。私が支持する名称としては、「工科総合」、「総合工科」、「至誠」の3つである。

(境田委員) 私は福岡工業高校のOBであり、先輩方による「工業高校」を守る活動は素晴らしいことと感じている。本日は一戸町小中学校PTA代表の代理として出席しており、これからの子どもたちのことを考えるとシンプルな高校がよいと考えるのでAグループの中から選びたいと考える。

(小笠原委員) 皆さんの意見を聞いて考えをまとめてみた。Aグループの案は前回差し戻され、新たな案の検討を小委員会にお願いした経緯もあるので、Cグループの中から選考すれば、Aグループの考え方も踏まえているのではないかと考える。「工業」と「総合」を取り入れた名前となると「総合工科」、「工科総合」が良いのではないかと考える。

(上野委員長) 委員としての発言を求められているところであり、両校の校長、副校長も委員の一人であることから、それぞれ発言をお願いしたい。

(新田委員) ここまでの意見を伺うと、学びの内容が分かる校名を支持する意見が多い状況であるが、高校の校名は必ずしも学びの内容が分かるものではないことは御理解いただけることと思う。二戸市、一戸町の共通のシンボルである「桜」が入っていること、県北をイメージできる「北」が入っていることを考慮し、Aグループの「北桜」を支持する。

(佐々木(正)委員) 新田委員と同様であり、二戸市、一戸町にまたがった統合であるため、「総合」、「工業」どちらにも偏ることなく、二戸市、一戸町に関係する「桜」が入る校名である「北桜」または「いわて北桜」を支持する。

(今野副委員長) 福岡工業高校校長の立場から、「工」の字を残す意見に対して嬉しく、ありがたく、感謝の気持ちでいっぱいである。また、統合するにあたり、地域の方の協力を得られて本当に感謝している。校名については、学校現場の立場としてシンプルなものが良いと考えており、Aグループの「北桜」を支持したい。

(上野委員長) 委員の一人として発言する。校長として地域からの支援、期待は大

事にしたいという思いがある。「工科」のように学びの内容が分かる校名として、未来への期待を校名に込めたいという気持ちも理解できる。他方で、学びの内容が分かるようにと工業の「工」の文字を付すということであれば、福祉、農業、情報ビジネス等の学びを行っている一戸高校としては、「総合」という文字を付すことでこれらの学びを表現できるものではないと考えるところである。また、一戸高校は総合学科高校であるが、校名に「総合」の文字は入っていない。校名に学びの内容を付さなくてもよいと考える。どのような校名であっても地域への貢献、恩返しが重要である。よって、Aグループから「北桜」が二つの学校、地域を共通するものとして未来ある名前となるのではないかと思うことから、「北桜」を支持する。

(上野委員長) 委員各位の意見を取りまとめると、Aグループの「北桜」、Bグループの「至誠実業」のうち「実業」を付けない「至誠」、及び「総合工科」、そして、Cグループの「工科総合」の4つが出ている。4つに絞る予定であることを踏まえ、この4つを当委員会から県教育委員会へ報告する案としてはいかがか。

(生内委員) 良いのではないか。

(鳩岡委員) 「総合工科」と「工科総合」が競合する。「総合工科」を除外したほうが良いのではないか。

(上野委員長) 他県では大規模な工業高校を「総合工科」としているため、外したいと思うがいかがか。

(生内委員) 良い。

(鳩岡委員) 「総合工科」を除外したことにより、案の数が3つとなることから、新たに「北桜工科総合」を追加したら良いのではないか。

(中村委員) 鳩岡委員の案を否定するものではないが、そのようにした場合、新設校の正式名称が「岩手県立北桜工科総合高等学校」と漢字14文字となり、少々長いのではないかと感じる。学校の愛称のことも考慮すると、シンプルな校名が良いのではないか。

(上野委員長) 4つに絞るか、「総合工科」を除外して3つのままで良いか。もう一つ追加したいものがあるか。

(生内委員) 皆さんの意見をまとめると、名称としては少々長いかもしれないが「北桜工科総合」も良いのではないか。

(鳩岡委員) 学びの内容が分かる校名であり、長くても問題はないのではないか。

(中嶋委員) 県教育委員会に報告する候補の数は4つでなければならないのか。3つでも良いのか。

(回答) (上野委員長) 数に決まりはない。

(小笠原委員) 名称としては少々長いかもしれないが、皆さんの思いのすべてが含まれる「北桜工科総合」も候補の一つとして選考して良いのではないか。

- (中嶋委員) シンプルであるA案の「北桜」については残していただきたい。
- (田家委員) Aグループから候補として選ぶのは「北桜」だけで良いのか。
- 〈回答〉(上野委員長) 各グループから複数選ぶとなると、最初に事務局が提案した選考方法と同様になる。
- (佐々木(由)委員) 選考方法について、事務局案による進め方とするのか、各委員が自由に発言して得られた4つの案とするのか、立ち戻って確認したほうが良いのではないか。
- (生内委員) ざっくばらんに意見が出ている状況であるため、候補を絞り込めるのであれば、今のままの進め方で良いのではないか。
- (中奥委員) 私はまだ意見を述べていないところであるが、皆さんの思いが入っている「北桜工科総合」が良いのではないか。この名称が長いとは思わない。全国から見たとき、岩手県の「北」に所在し、両市町の花でもあり日本の花でもある「桜」が入り、「工科総合」には工業と総合も入っており、様々なイメージが備わっている名称であると考え。専門高校の工業高校が総合学科と統合する岩手県では初のケースであり、「北桜工科総合」は校名としての響きも良いのではないか。
- (鳩岡委員) 高校の先生方はシンプルな名称が良いということだが、地域の思いや熱量はシンプルなものではないと感じている。地域にとって工業高校がなくなることは重大なことであり、せめて「工」の字を残したいという地域の熱い願いである。地域住民の思いは十分に汲んでいただきたいと切に願う。県北唯一の工業高校がなくなる重大な統合であるが、統合後も「工」の字が残れば地域の方々の新設校に対する愛着は続くことと思う。ぜひ「工」の字を残して欲しい。
- (佐々木(由)委員) 文部科学省によって、新時代に対応した高等教育の在り方として文理の枠を超えた教科等横断的な学習を推進する考えが示されたと記憶している。様々な分野を相容れながら新しいイノベーションを生み出していくことが、今の子どもたちに課せられている能力ではないかと考える。今回の統合により、教科横断的な学びができる教育課程が生かされるような名前になってくれればと思う。
- (上野委員長) 教育内容に関する意見をいただいた。普通科も改革していく流れである。普通教育を主とする学科においても「普通科」という名称以外の学科になっていくのではないかと見込まれている。学びの内容を魅力的で特色あるものにすることがこれからの教育に望まれる。工業も総合も同じである。議論は尽きないがところであるが、Aグループを支持する意見として、シンプルな校名が良いという意見が多くある。Cグループの「工科総合」についてはシンプルな校名が良いという意見とは相反するが、「工」の字が入り、学びの内容が分かる「工科総合」は候補に入れるべきではないかと考える。Aグルー

プの「北桜」も多くの委員から支持されているので候補に入れるべきと考える。まずは、この2つを校名（案）候補に入れたいと思うがいかがか。

（生内委員）良いと思う。

（上野委員長）では、「工科総合」、「北桜」の2つを県に報告する候補に入れることとする。他に、候補に入れても良いのではないかという意見があれば頂戴したい。

（鳩岡委員）3つ目として「北桜工科総合」も加えるべきと考える。

（筒井委員）Aグループの中から「北桜」、Cグループの中から「工科総合」と「北桜工科総合」の2つ、合わせて3つで良いのではないかと考える。

（中村委員）個人的には、Aグループの「誠北」も良いと思っている。

（佐藤委員）「至誠」も、誠実の「誠」の字も良いと思ったところであるが、Aグループの「北桜」で良いと考える。

（上野委員長）Bグループの「至誠」は候補から除外することとして良いか。

（田家委員）良い。私が両校の校訓である「誠実」を踏まえて支持したが、皆さんの意見を聞いていると除外することによいと思う。

（上野委員長）Aグループから「北桜」以外の候補として「誠北」を支持する意見が出された。また、Cグループから「北桜工科総合」を支持する意見が出された。この4つを候補とすることではいかがか。

（了承の声）

（上野委員長）それでは、「北桜高校」、「誠北高校」、「北桜工科総合高校」、「工科総合高校」の4つを統合検討委員会の校名（案）候補として、県教育委員会へ報告することとする。次に、当委員会の総意として順位付けが可能であれば、順位付けを検討したいと思うがいかがか。

（鳩岡委員）順位付けはしなくて良いと考える。いろいろな意見が出たので、そのまま付して県教育委員会に判断いただくこととして良いのではないか。

（生内委員）私も県教育委員会にお任せすることに賛成である。

（上野委員長）委員各位の統合新設校へ寄せる思いは一緒であり、その思いが結集した4候補であることから、順位を付けずに県教育委員会に報告したいと思う。最終確認するが、県北地区新設高等学校校名（案）として、「北桜高校」、「誠北高校」、「北桜工科総合高校」、「工科総合高校」の4つを県教育委員会に報告する。報告を行うにあたり、当委員会としての選考理由が必要となるが、事務局の原案はあるか。

〈回答〉（一戸高校新田副校長）選考理由については、委員の方々の意見を参考にしながら作成したいと思う。

（上野委員長）県教育委員会への報告文書は事務局で作成させていただくが、選考理由の概略としては、学びの内容が分かる校名案として「北桜工科総合高校」、「工科総合高校」が選考され、「北桜高校」は所在する両市町に共通する「桜」



から、「誠北高校」は両校の共通する校訓の「誠実」から、そして県北の「北」という字を合わせた校名案として選考された等というように報告することとしたい。文面については事務局に一任いただくということによろしいか。

(鳩岡委員) ぜひ、県北唯一の工業高校がなくなることについて、重大なこととして受け止めているという地域の思いをぜひ盛り込んでいただきたい。

(中嶋委員) 確認であるが、資料に記載されている「工業校舎」、「総合校舎」と書かれていることは活かされていくものか。

〈回答〉(上野委員長) 宮古商工高校と同様に、独立校舎型校舎制の場合、校舎名を定めなければ校舎を区別する際に不便であることから、校舎の名称は定なければならない。

(鳩岡委員) 個人的な案であるが、「一戸校舎」、「福岡校舎」で良いのではないか。今後決定される新たな校名次第であるが、「北桜高校」なら「工業校舎」、「総合校舎」とし、「北桜工科総合高校」なら、「一戸校舎」、「福岡校舎」で良いのではないか。

〈回答〉(上野委員長) 県教育委員会への報告書にも付しておきたい。

(学校教育室特命参事兼高校改革課長 安齊和男) 校舎名について、「二戸校舎」ではなく「福岡校舎」でよろしいか。

(鳩岡委員) 現在の校名が福岡工業高校であることから、「福岡校舎」で良いものとする。

(筒井委員) 福岡校舎ではなく、福岡キャンパスでもよいと考える。しかし工業キャンパスは少しわかりにくいのではないか。

〈回答〉(上野委員長) 学びの内容を示すのであれば「工業校舎」、「総合校舎」、地名であれば、「一戸校舎」、「一戸キャンパス」、「福岡校舎」、「福岡キャンパス」が良いのではないかと考える。このような意見があったことは記録にとどめるとともに、県にも報告する。

〈補足〉(学校教育室特命参事兼高校改革課長 安齊和男) 本統合検討委員会で4案を選考いただいたので、この後、事務局から県教育委員会へ正式に報告いただく。それを受けて県教育委員会で校名候補の選定を行う。本日この場でいただいた意見も含めて県教育委員に説明したうえで最終的な判断をいただきたいと考えている。次回の統合検討委員会にて校名(案)を報告できるよう進めていきたい。

## (2) その他

(中嶋委員) 校章と校歌についての要望であるが、これからの子どもたちに新しい財産を残すためにもぜひ良いものを作っていただきたいと思う。良いものを作るとなれば、プロの力を借りたほうが良いと思うが、そのためには予算をど

うするのかという問題があり、県教育委員会が支出することは難しいようであると聞いているところであるが、検討をお願いしたい。また、両校の同窓会にも未来の子どもたちにご支援をお願いしたい。

〈中村委員〉校歌についてであるが、先日新聞で、盛岡第三高校の校歌を作成するに当たり、初代校長が作詞をしたとの報道があったが、両校の職員にそのような方はいるのか。

〈回答〉（一戸高校新田副校長）一戸高校に作曲を担当できる教員がいるようである。

〈田家委員〉当委員会では、未来の子どもたちのために、新しい高校、一流の高校をつくるために様々な検討を行っている。予算がないからできないではなく、県教育委員会や学校には予算獲得に向けた方策等を考えていただきたい。

前回の会議で、制服に関して地元の縫製業者にて作製できるものか確認していただきたいと提案したところである。制服を地元で作ることになれば、新たな需要が生まれ、地域経済の活性化にもつながることと思う。できることであれば検討をした方が良く考える。時間もかかることではあるが、プロにつくってもらいたい。

また、今回の資料に新設校の姿に関する説明資料が掲載されており、今後の検討の参考になることから、次回の会議資料にも掲載していただきたい。

〈回答〉（上野委員長）3ページの資料については次回も掲載する。また、校章、校歌、校訓、制服について良いものを作るということでプロに依頼した方が良くいのではないかという意見もいただいた。制服については地元の業者に依頼すれば地域の活性化にもつながることから可能性を探ってまいりたい。

本日は、活発な議論をいただき感謝申し上げます。地域の方々、地域の学校にこれ程までも大きな期待と熱い思いを持っていただいているということに改めて感じたところである。本日の会議の様子をぜひ教職員に伝えていきたいと感じたとともに、我々教職員はそのような地域の思いに応えていかなければならないと感じた、身の引き締まる会議であった。

以上で、本日の協議を終了する。

## 5 その他

（なし）

## 6 閉会 （事務局担当校 岩手県立一戸高等学校副校長 新田剛史）

※午後3時33分終了